

高速道路料金の割引拡大！ ～ 交通量増大による渋滞・事故に注意しましょう。～

高速道路・安全走行のポイント

E T C（自動料金収受システム）を搭載した車に対する高速道路料金の割引が大幅に拡大されました。これにより、高速道路を利用する車が増加すると予想されますので、割引の概要と高速道路における安全走行のポイントをまとめてみました。



割引の概要

実施期間 2009年3月28日から2011年3月31日

休日特別割引（実施期間中の土・日・祝日）

対象車種 E T Cを搭載した二輪車・軽自動車・普通車
(中型車、大型車は休日特別割引の対象にはなりません。)

| | | | |
|-----|-----------|--------------|-----------------|
| 割引率 | 大都市近郊区間 | 午前6時～午後10時 | 最大3割引 |
| | | 午後10時～翌朝午前6時 | 最大5割引 |
| | 大都市近郊区間以外 | 終日 | 最大5割引または上限1000円 |

平日昼間割引（実施期間中の祝日を除く月～金の平日）

対象車種 E T Cを搭載した自動車（二輪車を含む）

割引率 大都市近郊区間以外
(大都市近郊区間は適用されません。)

平日の午前9時～午後5時 最大3割引
(100km以内の区間)

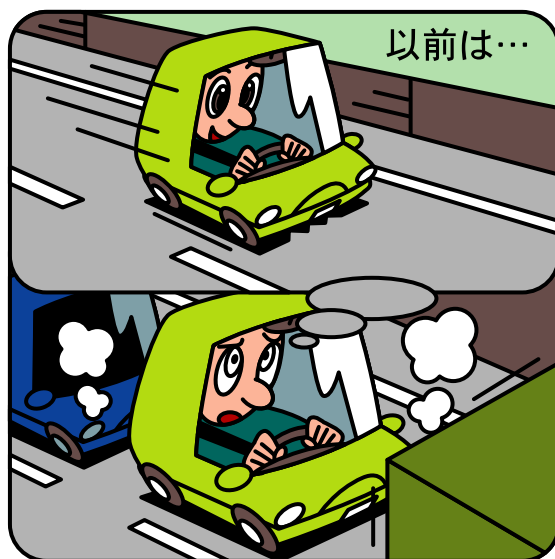
割引の対象となる高速道路や区間等の詳細については、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社のホームページをご覧ください。また、【休日特別割引】・【平日昼間割引】以外にも、【平日夜間割引】【地域限定の割引】が設けられていますので、その詳細についても、上記の各高速道路株式会社のホームページをご確認ください。



割引により予想されること

1. 交通量の増大
2. 交通集中による渋滞・事故の増加
3. 不慣れなドライバーの増加

先行して割引が実施された、本州四国連絡橋や東京湾アクアラインでは、休日の交通量が大幅に増大しています。今後、全国の高速道路でも交通量が増大し、それに伴う渋滞や、交通事故の増加が懸念されます。普段、高速道路を利用しない人が高速道路を利用するようになることも想定されます。



高速道路安全走行のポイント

交通量の増大・不慣れなドライバーの増加に備え、高速道路を通行する際は、以下のポイントをおさえ、入念な準備と慎重な運転を心がけましょう。

出発前の準備

1. 交通情報を確認
2. 時間に余裕のある計画
3. 出発前の車両点検
4. 携帯トイレを用意

- ・日本道路交通情報センターのホームページに渋滞予測が掲載されていますので、このような交通情報を参照し、時間に余裕のある計画を立てましょう。
- ・高速道路では、燃料切れ、タイヤのバースト、バッテリートラブルが多くなっています。出発前には、必ず車両点検を実施しましょう。
- ・長時間の渋滞に備えて、携帯トイレを用意しておくことも大切です。

安全走行のポイント

1. 車間距離の確保
2. 追突事故の防止

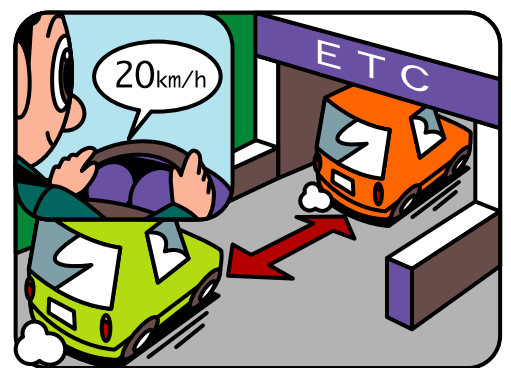
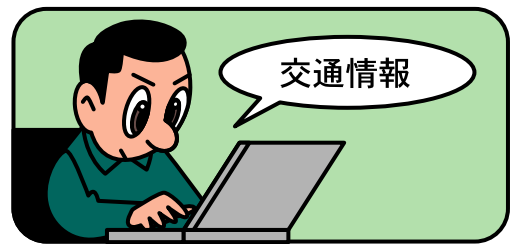
- ・速度が上がると、車の停止距離も長くなります。乾いた舗装路面での乗用車の停止距離は、時速 80キロで 70m、時速 100キロでは 112mといわれています。雨天の場合はさらに停止距離が伸びますので、不意の事態でも事故を確実に回避できる車間距離を確保することが大切です。
- ・渋滞に巻き込まれると、つい漫然運転をしがちになります。脇見から前車に追突する事故も多く、渋滞時ほど、前車の動きに注意して運転することが重要です。自車が渋滞の一番後ろの車になった場合は、ハザードランプを点灯し、後続車に渋滞を知らせ、追突されないようにしましょう。

ETCを安全に通過するために...

- ・通信エラーなどでバーが開かないこともあります。
- ・時速 20キロ以下に速度を落とし走行しましょう。
- ・十分な車間距離を確保しましょう。（前車が急停止する可能性もあります）
- ・ETCカードの入れ忘れに注意しましょう。

「高速道路走行に慣れている」と思っている人も...

- ・高速道路に不慣れなドライバーの増加が予想されます。
- ・他車の不意な進路変更・減速に注意しましょう。
- ・周囲の車の動向に目配りし、危険を予測して、危険に近づかない「防衛運転」を心がけましょう。



「ご相談・お申込先」